



田 淵 厚

多久市の学校教育について

田淵 令和2年度から始まるプログラミング教育の目的と、指導体制は。

答弁 国の学習指導要領改訂の一部として実施され、プログラミング教育はパソコンやタブレットを学習で活用し、基本的な活用スキルとコンピュータを動かす考え方の学習活動を行います。

田淵 学校の指導体制については、どの教科においてもプログラミング学習を行います。市では、各学校にICT教育の推進を担う教員を教育情報化推進リーダーとして配置しており、研修や授業研究を実施するなど、プログラミング教育に対する指導体制の構築を図っています。

田淵 コンピューターの利活用に苦手意識を持つ先生に対する研修はあるか。

答弁 不安感を持つ教職員もいますが、文部科学省が発行する指導

案集や小学校プログラミング教育の手引などを参考に、各校で研究授業や研修会を実施しています。

田淵 指導者としてボランティア等の外部的な支援体制はあるか。

答弁 ボランティア等の外部指導体制はありませんが、学校では多久高校との交流授業での体験やICT支援員による授業のサポートが行われています。

田淵 令和2年度からの実施に向けて、各学校で検証をしたことはあるか。

答弁 本格実施に向け、令和元年12月末に推進リーダーと指導計画等の点検、改善を行い、令和2年1月に、その指導計画等に基つき、各学校で指導主事が実際に出向き研修を実施、新学期に備えます。



青少年健全育成の現状について



田 中 英 行

田中 子どもクラブの実態は。

答弁 子ども数は減少が続いており、子どもクラブでも児童・生徒数が数名にまで減少したことで子どもクラブとしての活動を行っていない地区もあります。

田中 体験場の現状は。

答弁 少子化進展により体験活動の場が減少、子ども大会の申込み条件や要綱の見直しを行い、所属する地域に子どもクラブがなくとも参加できるように変更、体験活動では限られた財源とボランティア人材を最大限に生かせるよう事業の回数や内容の見直しにも取り組ん



でいます。放課後の子ども達の居場所づくりや体験活動の機会として公民館や学校の空き教室を活用した放課後子供教室を実施しています。

中山間地域の現状と対策について

田中 中山間地域における、ため池などの数及び管理は。

答弁 現在99箇所のため池が台帳に記載されており、管理はため池の水を利用される地元の受益者などで行われています。

田中 さが園芸生産008億円推進事業の具体的な取組みと現状は。

答弁 販売額の向上などの目標や産地としての新規就農者の確保対策などを盛り込んだ園芸産地計画で、市は県やJAと連携して計画の実現に向けて毎年の進捗状況や課題を把握しながら、きめ細やかな指導を生産者に行っています。運動を後押しする単事業を活用し、いちごの高設栽培施設整備やハウスの長寿命化対策などに取り組んでいます。

地域防災計画について



飯 守 康 洋

飯守 計画の目的、性格及び防災の基本理念は。

答弁 市土及び市民の生命、身体及び財産を災害から保護する目的、国県が作成する計画との整合性を図る、関係法令に基づき防災に関する施策及び計画を総合的に網羅し体系的に位置づけるとともに防災関係機関の実施責任を明らかにしたもの、国土強靱化に関する部分については基本目標を踏まえたものとする。計画について毎年検討を加える場合は、修正す



市道の維持管理と多久市G空間地域防災システムについて



鷲 崎 義 彦

鷲崎 市道のライン、側溝の維持管理、市道の改修や補修のあり方は。

答弁 道路ラインの維持管理については、定期的に市職員や市道管理業務委託業者が点検を行うとともに、年度初めに囑託員さん等へ交通危険箇所の調査依頼をし、報告された箇所は巡回調査を行い、危険度の高い所から対策を実施しています。また、小幡員市道のラインについては、囑託員さんを通じてご要望があれば、対応を検討していきます。側溝についても同様の確認、対応を行っています。確認漏れの箇所もあるかと思うので、同様のご要望や道路愛護助成金の活用をお願いできればと思います。

次に市道の改修や補修ですが、1・2級市道では年次計画を立て年約600mの改修事業を実施。その他市道は、令和3年度にかけ舗装表

るもので基本理念として災害予防段階では周知かつ十分な災害の予防、災害応急段階は迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興段階では適切かつ速やかな災害復旧を掲げています。

飯守 災害予防対策の計画で河川関係、ため池施設の整備の実施策は。

答弁 整備の状況として河川の流域を勘案し河川断面を大きくするなどの改修を行ったり、災害等で被災した部分をブロック積みなどで補強し洪水に対応できるように整備を行っています。

市内のため池の整備は、これまでも国の制度事業を活用しながら補修や改修を行っているところです。現在は国の補助を受けたため池の耐震調査を実施し必要に応じ整備工事を実施しています。

飯守 食料、飲料水及び生活必需品等の供給計画の実施策は。

答弁 食料関係で保存食、高齢者や幼児向けの保存食、幼児向けの粉ミルクや液体ミルクを備蓄、民間企業と災害時応援協定を締結し飲料水の確保を図っています。

層補修等、取り組みの強化を図っていきます。

鷲崎 多久市G空間地域防災システムの現状と運用は。

答弁 現在のところ災害対策本部、支部、避難所、現地調査を行う職員間での運用とされています。

鷲崎 災害時における囑託員さんのシステム利用による報告書作成等については。

答弁 今後、紙ベースによる報告書とあわせて、システムを活用した災害報告書の提出が可能となるよう、機能面、運用面での必要な課題の解決を図っていきます。

